［様式］　　影響要因－環境要素関連表

本表の、影響要因と環境要素については一例を示したものであり、対象事業毎に、事業特性や地域特性を踏まえて適宜作成すること。

影響要因 ＼ 環境要素				大気質							水質					水象				土壌汚染			地形・地質				植物					動物			景観				廃棄物等			その他の環境要素				
区分		（具体的な要因）	（小区分）	環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼~~等~~	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	地盤沈下	地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	生態系	景観資源及び構成要素	主要な景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物	残土等の副産物	温室効果ガス等	電波障害	日照阻害	風害	光害	（その他、必要に応じて追加）
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）																																													
	採取（資材・土砂等）																																													
	土地造成（切土・盛土）																																													
	樹木の伐採																																													
	掘削																																													
	杭打ち																																													
	舗装工事・コンクリート工事																																													
	発破工事																																													
	~~建築物・~~工作物~~等~~の撤去・廃棄																																													
	廃材・残土等の発生・処理																																													
	取水・揚水・排水・水使用																																													
	沢等の工事																																													
	（その他、必要に応じて追加）																																													
存在・供用による影響	地形改変（河川・湖沼等の改変も含む）																																													
	樹木伐採後の状態																																													
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																													
	緑化																																													
	自動車交通の発生																																													
	ばい煙等の発生																																													
	取水・揚水・排水・水使用																																													
	騒音・振動の発生（自動車を除く）																																													
	悪臭の発生																																													
	廃棄物の排出・処理																																													
	エネルギー使用（電気・石油・ガス等）																																													
	夜間の照明等																																													
	有害物質等の使用（農薬・肥料、融雪剤等を含む）																																													
	工作物の撤去・廃棄																																													
	（その他、必要に応じて追加）																																													

【作成に当たっての留意事項】

- 本表は様式の一例を示したものであり、実際の作成に当たっては、「１－１（３）影響要因及び環境要素の抽出」、「１－１（４）環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の予備選定」、「３　環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の選定(スコーピング)」で述べた考え方等を参考にすること。
- **次ページ**以降に、本表に基づき作成した、３種類の事業の記載例を載せてあるが、それらはあくまでも参考である。したがって、影響要因、環境要素及び選定された項目が見やすく整理されたものであれば、様式は適宜変更しても構わない。
- 影響要因及び環境要素については、事業特性及び地域特性を勘案して後に手戻りが出ないように可能性のあるものを残さず抽出すること。
- 必要に応じて、影響要因及び環境要素を追加すること。
- 影響要因の欄には、個々の事業に応じて具体的な要因を記載すること。（例えば、「建築物・工作物等の存在」の右欄には、「高層建築物（５階建て）」、「地下構造物」、「トンネル」、「橋梁（コンクリート製）」等と具体的に記載する）
- 予備調査の段階で特に重大な影響が想定される対象が具体的に特定できた場合は、影響要素の小区分に具体的に記載すること。（小区分そのものを追加する方法もある。）

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その１］　影響要因－環境要素関連表

道路（森林、農地、集落それぞれの通過を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	△												
	採取（資材・土砂等）	盛土材の採取	△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	○	△	△	○									
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	発破工事			△		△	△	△																							△	△	△				○								
	掘削	トンネル、床堀（橋脚等）	△	△		△	△			○		△				△															△	△	△				○								
	杭打ち	橋脚基礎工				△	△			○		△																			△	△	△	△	△										
	工作物の工事	橋梁工																																△	△		○								
	沢等の工事	護岸工								○		△														○	○		○		○	○	○	△	△	○	○								
	舗装工事・コンクリート工事									○	△	△																			△	△	△			△									
	廃材・残土等の発生・処理		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														△									△		◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○									
	樹木伐採後の状態														△									△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	高架式道路の存在等						△																△							△	△	△	◎	◎	○					○	○	○		
	緑化														△									△		○	○	△		○	○	○	○	◎	◎	○									
	自動車交通の発生	車両の走行	○	○	△	○	○		△																						△	△	△			◎									
	排水	路面排水								△	△	△														△	△		△		△	△	△												
	夜間の照明等																									△	△		△		△	○	△	◎	◎	△									

【△△道路建設事業における項目選定の概要】　項目選定の詳細な理由については第３章の「分類結果−理由表」を参照のこと

- 「大気質」については、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所（３章「大気質」の○○ページの表を参照）において詳細な調査、予測及び評価が必要なため該当する項目を標準化項目に分類した。
- 「騒音」「振動」の工事による影響については、簡略化項目としたが、「大気質」と同じ理由から、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所については調査箇所をやや多めに設定した。（調査箇所については３章「騒音」の○○ページの図を参照のこと）
- □□町△△地区から○○町の至る部分については、第１章で述べたとおりトンネル構造とする案と一部国道◇◇号を利用しながら、集落内に道路を新設する案がある。そのため、詳細な比較検討が可能となるように、「植物」、「動物」、「生態系」、「景観」等について、主に存在・供用による影響の影響要因に対し、重点化項目を幾つか設定した。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その２］　影響要因－環境要素関連表　　~~ゴルフ場~~太陽光発電所（森林地域への立地を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物			生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼~~等~~	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	付近に生育が確認されたクマタカ		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	○													
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			△		△		△		△			△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	◎	○	△	△	○				△					
	~~発破工事~~	~~岩盤掘削~~		~~△~~		~~○~~	~~○~~	~~△~~																							~~△~~	~~△~~	~~◎~~						~~○~~								
	掘削	床堀（管渠、防災調整池堰堤）	△	△		○	○			△		△																			△	△	○						○								
	~~沢等の工事~~	~~盛土、水路工、防災調整池~~	~~△~~							~~△~~		~~△~~												~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~○~~								
	~~舗装工事・コンクリート工事~~									~~△~~	~~△~~	~~△~~																			~~△~~	~~△~~														
	~~建築物の工事~~					~~△~~																																~~○~~								
	廃材・残土等の発生・処理	伐採木、残土	△	△		△	△															○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○		○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														○	△								△		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					△					
	樹木伐採後の状態														○	△								△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	太陽光パネルの存在等																								~~△~~○	~~△~~	△	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○		~~△~~○	○	○	△				○				○	
	緑化														○	△								△		○	○	△	○	○	○	○		○	○	○	○				△					
	~~自動車交通の発生~~	~~入場客の来場、職員の通勤~~	~~△~~			~~△~~	~~△~~																																							
	~~ばい煙等の発生~~	~~刈芝等の焼却~~	~~△~~		~~△~~				~~△~~											~~△~~													~~△~~													
		~~ボイラー~~	~~△~~																														~~△~~								~~△~~					
	騒音・振動の発生	パワーコンディショナー等の稼働				○	○	○																																						
	~~廃棄物の排出~~	~~一般ゴミ、焼却灰の保管~~		~~△~~	~~△~~				~~△~~											~~△~~																			~~○~~							
	~~夜間の照明等~~	~~ナイター施設、駐車場照明~~																								~~△~~	~~△~~		~~△~~		~~△~~	~~○~~	~~○~~		~~△~~	~~△~~					~~△~~					
	工作物の撤去・廃棄	太陽光パネル等の撤去・廃棄																	△	△																			○	△						
	~~河川取水~~	~~芝生等への散水~~													~~○~~	~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	~~地下水揚水~~	~~クラブハウスの上水~~														~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	排水処理								△	~~○~~△	△	~~○~~△			△																															
	農薬・~~肥料~~の使用	除草剤等の使用			△					○	○	○	○	○					○	○						△	△		△	△	△	△		△												

【項目選定の基本的な方針】　各項目の分類の詳細な理由については○○ページの「分類結果-理由表」を参照のこと

- 「騒音」「振動」の工事による影響については、隣接地に病院、学校、住宅地等が存在しないため、基本的には簡略化項目としていたが、予備調査の段階で事業実施区域の周辺（位置については、△△ページの図を参照のこと）で希少野生動物であるクマタカが確認されたため、幾つかについては標準化項目とした。
- 「水質」及び「水象」については、予備調査の結果から下流域に水道水源が確認されなかったが、今後の調査結果から、水質の変化に敏感な動植物の存在が確認又は予想された場合には、より詳細に予測、評価等を行う。
- 「植物」については、調査の結果、注目すべき種等の存在が確認された場合は、その重要性に応じて予測及び評価を詳細に行う。また、確認された場所、個体数等の状況によっては、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置についても再検討を行う。
- 「動物」については、予備調査の段階で事業実施区域の周辺で希少野生動物であるクマタカが確認されていることが明らかになったため、小区分に「付近に生息が確認されたクマタカ」を追加した。なお、調査の結果、クマタカ以外の注目すべき種等が確認された場合は、その重要性に応じて調査箇所及び調査期間等の変更を行う。また、「植物」と同様に、調査結果に応じて、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置について検討を行う。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その３］　影響要因－環境要素関連表　　廃棄物焼却施設（旧施設を廃止し、同一の場所に設置することを想定した場合）の例

区分	影響要因（小区分）	（具体的な要因）	大気質			騒音		振動	低周波音	悪臭	水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	総合騒音	特定騒音				環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	温泉	地下水	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△	△	△	○	○																												○	○									
	樹木の伐採																										△	△	△	△		△	△	△	△											
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△	△																			△	△		△		△						△								
	掘削	基礎工事	△	△		△	△	△																																						
	工作物の撤去・廃棄（建築物の解体等）	既存する旧施設の解体	△	○	△	△	△	△																																						
	舗装工事・コンクリート工事										△		△																																	
	建築物の工事					△	△	△																											△	△										
	廃材・残土等の発生・処理	既存する旧施設の解体に伴う発生		△	△																																		○	△						
存在・供用による影響	地形改変																										△	△		△	△	△			△	△	△									
	樹木伐採後の状態																										△	△	△	△	△	△	△		△	△	△									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																		○	○	△									
	緑化																										△	△		△	△	△			△	△	○									
	自動車交通の発生	廃棄物の搬入、焼却灰の搬出、職員の通勤	△	△	△		△	△		△																											△									
	焼却施設の稼働	搬入廃棄物の保管、ばい煙、冷却排水、洗煙排水、設備稼動	◎		◎		○	○	△	◎	○	○	△	○	△					○	○															○				○						
	廃棄物の排出・処理	焼却灰の保管		△	△															△	△																		○							

【項目選定の基本方針等】　各項目の選定根拠については環境要素毎に３章にまとめた。

- 「騒音」については、事業実施区域の東側に立地している△△公園及び文化施設（□□市スポーツセンター）における、工事中の総合された騒音について予測、評価を行うこととし、小区分として「総合騒音」を抽出した。（詳しくは○○頁を参照）
- 「水象」、「地盤沈下」、「地形・地質」については、既存施設の解体後に、ほぼ同じ箇所に同規模の建築物を新設する計画であるため、影響はほとんど無いと判断し、全ての影響要因に対して非選定項目とした。
- 「土壌汚染」については、予備調査において既存施設で過去に土壌汚染物質が使用された可能性が無いことが確認されているため、「工事による影響」においては全て非選定項目とし、新設する焼却施設の供用後についてのみ予測、評価を行う。
- 「植物」については、事業実施により伐採する樹木は、既存施設の周囲及び東側に隣接する△△広場の植栽エリアの一部のみであり、注目すべき種等が存在する可能性が低いため、影響の想定される項目については、全て簡略化項目とした。
- なお、上記の△△パークのさらに東側には文化施設（□□市スポーツセンター）が立地しているため、「触れ合い活動の場」や「景観」について、工事による影響のうち資材運搬及び存在・供用による影響のうち緑化、工作物の稼働等を標準項目とした。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

［様式］　　影響要因－環境要素関連表

本表の、影響要因と環境要素については一例を示したものであり、対象事業毎に、事業特性や地域特性を踏まえて適宜作成すること。

影響要因 ＼ 環境要素			大気質							水質					水象				土壌汚染			地形・地質				植物					動物			景観				廃棄物等			その他の環境要素				
区分		（具体的な要因）	環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	地盤沈下	地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	生態系	景観資源及び構成要素	主要な景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物	残土等の副産物	温室効果ガス等	電波障害	日照阻害	風害	光害	（その他、必要に応じて追加）
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）																																												
	採取（資材・土砂等）																																												
	土地造成（切土・盛土）																																												
	樹木の伐採																																												
	掘削																																												
	杭打ち																																												
	舗装工事・コンクリート工事																																												
	発破工事																																												
	~~建築物・~~工作物~~等~~の撤去・廃棄																																												
	廃材・残土等の発生・処理																																												
	取水・揚水・排水・水使用																																												
	沢等の工事																																												
	（その他、必要に応じて追加）																																												
存在・供用による影響	地形改変（河川・湖沼等の改変も含む）																																												
	樹木伐採後の状態																																												
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																												
	緑化																																												
	自動車交通の発生																																												
	ばい煙等の発生																																												
	取水・揚水・排水・水使用																																												
	騒音・振動の発生（自動車を除く）																																												
	悪臭の発生																																												
	廃棄物の排出・処理																																												
	エネルギー使用（電気・石油・ガス等）																																												
	夜間の照明等																																												
	有害物質等の使用（農薬・肥料、融雪剤等を含む）																																												
	工作物の撤去・廃棄																																												
	（その他、必要に応じて追加）																																												

【作成に当たっての留意事項】

- 本表は様式の一例を示したものであり、実際の作成に当たっては、「１－１（３）影響要因及び環境要素の抽出」、「１－１（４）環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の予備選定」、「３　環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の選定(スコーピング)」で述べた考え方等を参考にすること。
- **次ページ**以降に、本表に基づき作成した、３種類の事業の記載例を載せてあるが、それらはあくまでも参考である。したがって、影響要因、環境要素及び選定された項目が見やすく整理されたものであれば、様式は適宜変更しても構わない。
- 影響要因及び環境要素については、事業特性及び地域特性を勘案して後に手戻りが出ないように可能性のあるものを残さず抽出すること。
- 必要に応じて、影響要因及び環境要素を追加すること。
- 影響要因の欄には、個々の事業に応じて具体的な要因を記載すること。（例えば、「建築物・工作物等の存在」の右欄には、「高層建築物（５階建て）」、「地下構造物」、「トンネル」、「橋梁（コンクリート製）」等と具体的に記載する）
- 予備調査の段階で特に重大な影響が想定される対象が具体的に特定できた場合は、影響要素の小区分に具体的に記載すること。（小区分そのものを追加する方法もある。）

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その１］　影響要因－環境要素関連表

道路（森林、農地、集落それぞれの通過を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	△												
	採取（資材・土砂等）	盛土材の採取	△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	○	△	△	○									
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	発破工事			△		△	△	△																							△	△	△				○								
	掘削	トンネル、床堀（橋脚等）	△	△		△	△			○		△				△															△	△	△				○								
	杭打ち	橋脚基礎工				△	△			○		△																			△	△	△	△	△										
	工作物の工事	橋梁工																																△	△		○								
	沢等の工事	護岸工								○		△														○	○		○		○	○	○	△	△	○	○								
	舗装工事・コンクリート工事									○	△	△																			△	△	△			△									
	廃材・残土等の発生・処理		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														△									△		◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○									
	樹木伐採後の状態														△									△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	高架式道路の存在等						△																△							△	△	△	◎	◎	○					○	○	○		
	緑化														△									△		○	○	△		○	○	○	○	◎	◎	○									
	自動車交通の発生	車両の走行	○	○	△	○	○		△																						△	△	△			◎									
	排水	路面排水								△	△	△														△	△		△		△	△	△												
	夜間の照明等																									△	△		△		△	○	△	◎	◎	△									

【△△道路建設事業における項目選定の概要】　項目選定の詳細な理由については第３章の「分類結果−理由表」を参照のこと

- 「大気質」については、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所（３章「大気質」の○○ページの表を参照）において詳細な調査、予測及び評価が必要なため該当する項目を標準化項目に分類した。
- 「騒音」「振動」の工事による影響については、簡略化項目としたが、「大気質」と同じ理由から、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所については調査箇所をやや多めに設定した。（調査箇所については３章「騒音」の○○ページの図を参照のこと）
- □□町△△地区から○○町の至る部分については、第１章で述べたとおりトンネル構造とする案と一部国道◇◇号を利用しながら、集落内に道路を新設する案がある。そのため、詳細な比較検討が可能となるように、「植物」、「動物」、「生態系」、「景観」等について、主に存在・供用による影響の影響要因に対し、重点化項目を幾つか設定した。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その２］　影響要因－環境要素関連表　　~~ゴルフ場~~太陽光発電所（森林地域への立地を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物			生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼~~等~~	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	付近に生育が確認されたクマタカ		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	○													
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			△		△		△		△			△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	◎	○	△	△	○				△					
	~~発破工事~~	~~岩盤掘削~~		~~△~~		~~○~~	~~○~~	~~△~~																							~~△~~	~~△~~	~~◎~~						~~○~~								
	掘削	床堀（管渠、防災調整池堰堤）	△	△		○	○			△		△																			△	△	○						○								
	~~沢等の工事~~	~~盛土、水路工、防災調整池~~	~~△~~							~~△~~		~~△~~												~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~○~~								
	~~舗装工事・コンクリート工事~~									~~△~~	~~△~~	~~△~~																			~~△~~	~~△~~														
	~~建築物の工事~~					~~△~~																																~~○~~								
	廃材・残土等の発生・処理	伐採木、残土	△	△		△	△															○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○		○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														○	△								△		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					△					
	樹木伐採後の状態														○	△								△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	太陽光パネルの存在等																								~~△~~○	~~△~~	△	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○		~~△~~○	○	○	△				○				○	
	緑化														○	△								△		○	○	△	○	○	○	○		○	○	○	○				△					
	~~自動車交通の発生~~	~~入場客の来場、職員の通勤~~	~~△~~			~~△~~	~~△~~																																							
	~~ばい煙等の発生~~	~~刈芝等の焼却~~	~~△~~		~~△~~				~~△~~											~~△~~													~~△~~													
		~~ボイラー~~	~~△~~																														~~△~~								~~△~~					
	騒音・振動の発生	パワーコンディショナー等の稼働				○	○	○																																						
	~~廃棄物の排出~~	~~一般ゴミ、焼却灰の保管~~		~~△~~	~~△~~				~~△~~											~~△~~																			~~○~~							
	~~夜間の照明等~~	~~ナイター施設、駐車場照明~~																								~~△~~	~~△~~		~~△~~		~~△~~	~~○~~	~~○~~		~~△~~	~~△~~					~~△~~					
	工作物の撤去・廃棄	太陽光パネル等の撤去・廃棄																	△	△																			○	△						
	~~河川取水~~	~~芝生等への散水~~													~~○~~	~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	~~地下水揚水~~	~~クラブハウスの上水~~														~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	排水処理								△	~~○~~△	△	~~○~~△			△																															
	農薬・~~肥料~~の使用	除草剤等の使用			△					○	○	○	○	○					○	○						△	△		△	△	△	△		△												

【項目選定の基本的な方針】　各項目の分類の詳細な理由については○○ページの「分類結果-理由表」を参照のこと

- 「騒音」「振動」の工事による影響については、隣接地に病院、学校、住宅地等が存在しないため、基本的には簡略化項目としていたが、予備調査の段階で事業実施区域の周辺（位置については、△△ページの図を参照のこと）で希少野生動物であるクマタカが確認されたため、幾つかについては標準化項目とした。
- 「水質」及び「水象」については、予備調査の結果から下流域に水道水源が確認されなかったが、今後の調査結果から、水質の変化に敏感な動植物の存在が確認又は予想された場合には、より詳細に予測、評価等を行う。
- 「植物」については、調査の結果、注目すべき種等の存在が確認された場合は、その重要性に応じて予測及び評価を詳細に行う。また、確認された場所、個体数等の状況によっては、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置についても再検討を行う。
- 「動物」については、予備調査の段階で事業実施区域の周辺で希少野生動物であるクマタカが確認されていることが明らかになったため、小区分に「付近に生息が確認されたクマタカ」を追加した。なお、調査の結果、クマタカ以外の注目すべき種等が確認された場合は、その重要性に応じて調査箇所及び調査期間等の変更を行う。また、「植物」と同様に、調査結果に応じて、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置について検討を行う。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その３］　影響要因－環境要素関連表　　廃棄物焼却施設（旧施設を廃止し、同一の場所に設置することを想定した場合）の例

区分	影響要因（小区分）	（具体的な要因）	大気質			騒音		振動	低周波音	悪臭	水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	総合騒音	特定騒音				環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	温泉	地下水	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△	△	△	○	○																												○	○									
	樹木の伐採																										△	△	△	△		△	△	△	△											
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△	△																			△	△		△		△						△								
	掘削	基礎工事	△	△		△	△	△																																						
	工作物の撤去・廃棄（建築物の解体等）	既存する旧施設の解体	△	○	△	△	△	△																																						
	舗装工事・コンクリート工事										△		△																																	
	建築物の工事					△	△	△																											△	△										
	廃材・残土等の発生・処理	既存する旧施設の解体に伴う発生		△	△																																		○	△						
存在・供用による影響	地形改変																										△	△		△	△	△			△	△	△									
	樹木伐採後の状態																										△	△	△	△	△	△	△		△	△	△									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																		○	○	△									
	緑化																										△	△		△	△	△			△	△	○									
	自動車交通の発生	廃棄物の搬入、焼却灰の搬出、職員の通勤	△	△	△		△	△		△																											△									
	焼却施設の稼働	搬入廃棄物の保管、ばい煙、冷却排水、洗煙排水、設備稼動	◎		◎		○	○	△	◎	○	○	△	○	△					○	○															○				○						
	廃棄物の排出・処理	焼却灰の保管		△	△															△	△																		○							

【項目選定の基本方針等】　各項目の選定根拠については環境要素毎に３章にまとめた。

- 「騒音」については、事業実施区域の東側に立地している△△公園及び文化施設（□□市スポーツセンター）における、工事中の総合された騒音について予測、評価を行うこととし、小区分として「総合騒音」を抽出した。（詳しくは○○頁を参照）
- 「水象」、「地盤沈下」、「地形・地質」については、既存施設の解体後に、ほぼ同じ箇所に同規模の建築物を新設する計画であるため、影響はほとんど無いと判断し、全ての影響要因に対して非選定項目とした。
- 「土壌汚染」については、予備調査において既存施設で過去に土壌汚染物質が使用された可能性が無いことが確認されているため、「工事による影響」においては全て非選定項目とし、新設する焼却施設の供用後についてのみ予測、評価を行う。
- 「植物」については、事業実施により伐採する樹木は、既存施設の周囲及び東側に隣接する△△広場の植栽エリアの一部のみであり、注目すべき種等が存在する可能性が低いため、影響の想定される項目については、全て簡略化項目とした。
- なお、上記の△△パークのさらに東側には文化施設（□□市スポーツセンター）が立地しているため、「触れ合い活動の場」や「景観」について、工事による影響のうち資材運搬及び存在・供用による影響のうち緑化、工作物の稼働等を標準項目とした。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

［様式］　　影響要因－環境要素関連表

本表の、影響要因と環境要素については一例を示したものであり、対象事業毎に、事業特性や地域特性を踏まえて適宜作成すること。

影響要因 ＼ 環境要素			大気質							水質					水象				土壌汚染			地形・地質				植物					動物			景観				廃棄物等			その他の環境要素				
区分		（具体的な要因）	環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	地盤沈下	地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	生態系	景観資源及び構成要素	主要な景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物	残土等の副産物	温室効果ガス等	電波障害	日照阻害	風害	光害	（その他、必要に応じて追加）
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）																																												
	採取（資材・土砂等）																																												
	土地造成（切土・盛土）																																												
	樹木の伐採																																												
	掘削																																												
	杭打ち																																												
	舗装工事・コンクリート工事																																												
	発破工事																																												
	~~建築物・~~工作物~~等~~の撤去・廃棄																																												
	廃材・残土等の発生・処理																																												
	取水・揚水・排水・水使用																																												
	沢等の工事																																												
	（その他、必要に応じて追加）																																												
存在・供用による影響	地形改変（河川・湖沼等の改変も含む）																																												
	樹木伐採後の状態																																												
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																												
	緑化																																												
	自動車交通の発生																																												
	ばい煙等の発生																																												
	取水・揚水・排水・水使用																																												
	騒音・振動の発生（自動車を除く）																																												
	悪臭の発生																																												
	廃棄物の排出・処理																																												
	エネルギー使用（電気・石油・ガス等）																																												
	夜間の照明等																																												
	有害物質等の使用（農薬・肥料、融雪剤等を含む）																																												
	工作物の撤去・廃棄																																												
	（その他、必要に応じて追加）																																												

【作成に当たっての留意事項】

- 本表は様式の一例を示したものであり、実際の作成に当たっては、「１－１（３）影響要因及び環境要素の抽出」、「１－１（４）環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の予備選定」、「３　環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の選定(スコーピング)」で述べた考え方等を参考にすること。
- **次ページ**以降に、本表に基づき作成した、３種類の事業の記載例を載せてあるが、それらはあくまでも参考である。したがって、影響要因、環境要素及び選定された項目が見やすく整理されたものであれば、様式は適宜変更しても構わない。
- 影響要因及び環境要素については、事業特性及び地域特性を勘案して後に手戻りが出ないように可能性のあるものを残さず抽出すること。
- 必要に応じて、影響要因及び環境要素を追加すること。
- 影響要因の欄には、個々の事業に応じて具体的な要因を記載すること。（例えば、「建築物・工作物等の存在」の右欄には、「高層建築物（５階建て）」、「地下構造物」、「トンネル」、「橋梁（コンクリート製）」等と具体的に記載する）
- 予備調査の段階で特に重大な影響が想定される対象が具体的に特定できた場合は、影響要素の小区分に具体的に記載すること。（小区分そのものを追加する方法もある。）

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その１］　影響要因－環境要素関連表

道路（森林、農地、集落それぞれの通過を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	△												
	採取（資材・土砂等）	盛土材の採取	△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	○	△	△	○									
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○								
	発破工事			△		△	△	△																							△	△	△				○								
	掘削	トンネル、床堀（橋脚等）	△	△		△	△			○		△				△															△	△	△				○								
	杭打ち	橋脚基礎工				△	△			○		△																			△	△	△	△	△										
	工作物の工事	橋梁工																																△	△		○								
	沢等の工事	護岸工								○		△														○	○		○		○	○	○	△	△	○	○								
	舗装工事・コンクリート工事									○	△	△																			△	△	△			△									
	廃材・残土等の発生・処理		△	△		△	△			○		△										○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														△									△		◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○									
	樹木伐採後の状態														△									△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	高架式道路の存在等						△																△							△	△	△	◎	◎	○					○	○	○		
	緑化														△									△		○	○	△		○	○	○	○	◎	◎	○									
	自動車交通の発生	車両の走行	○	○	△	○	○		△																						△	△	△			◎									
	排水	路面排水								△	△	△														△	△		△		△	△	△												
	夜間の照明等																									△	△		△		△	○	△	◎	◎	△									

【△△道路建設事業における項目選定の概要】　項目選定の詳細な理由については第３章の「分類結果−理由表」を参照のこと

- 「大気質」については、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所（３章「大気質」の○○ページの表を参照）において詳細な調査、予測及び評価が必要なため該当する項目を標準化項目に分類した。
- 「騒音」「振動」の工事による影響については、簡略化項目としたが、「大気質」と同じ理由から、病院、学校、住宅地等が隣接して存在する箇所については調査箇所をやや多めに設定した。（調査箇所については３章「騒音」の○○ページの図を参照のこと）
- □□町△△地区から○○町の至る部分については、第１章で述べたとおりトンネル構造とする案と一部国道◇◇号を利用しながら、集落内に道路を新設する案がある。そのため、詳細な比較検討が可能となるように、「植物」、「動物」、「生態系」、「景観」等について、主に存在・供用による影響の影響要因に対し、重点化項目を幾つか設定した。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その２］　影響要因－環境要素関連表　　~~ゴルフ場~~太陽光発電所（森林地域への立地を想定した場合）の例

区分	影響要因（具体的な要因）	環境要素（小区分）	大気質							水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物			生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	騒音	振動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼~~等~~	地下水	温泉	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	付近に生育が確認されたクマタカ		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△		△	△																								△	△	○													
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△			△		△		△		△			△	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	○	○								
	樹木の伐採					△																		○		○	○		○	○	○	○	◎	○	△	△	○				△					
	~~発破工事~~	~~岩盤掘削~~		~~△~~		~~○~~	~~○~~	~~△~~																							~~△~~	~~△~~	~~◎~~						~~○~~								
	掘削	床堀（管渠、防災調整池堰堤）	△	△		○	○			△		△																			△	△	○						○								
	~~沢等の工事~~	~~盛土、水路工、防災調整池~~	~~△~~							~~△~~		~~△~~												~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~		~~○~~	~~○~~		~~○~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~○~~								
	~~舗装工事・コンクリート工事~~									~~△~~	~~△~~	~~△~~																			~~△~~	~~△~~														
	~~建築物の工事~~					~~△~~																																~~○~~								
	廃材・残土等の発生・処理	伐採木、残土	△	△		△	△															○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○		○	△	△	○	○	○	○						
存在・供用による影響	地形改変														○	△								△		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○					△					
	樹木伐採後の状態														○	△								△		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在	太陽光パネルの存在等																								~~△~~○	~~△~~	△	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○	~~△~~○		~~△~~○	○	○	△				○				○	
	緑化														○	△								△		○	○	△	○	○	○	○		○	○	○	○				△					
	~~自動車交通の発生~~	~~入場客の来場、職員の通勤~~	~~△~~			~~△~~	~~△~~																																							
	~~ばい煙等の発生~~	~~刈芝等の焼却~~	~~△~~		~~△~~				~~△~~											~~△~~													~~△~~													
		~~ボイラー~~	~~△~~																														~~△~~								~~△~~					
	騒音・振動の発生	パワーコンディショナー等の稼働				○	○	○																																						
	~~廃棄物の排出~~	~~一般ゴミ、焼却灰の保管~~		~~△~~	~~△~~				~~△~~											~~△~~																			~~○~~							
	~~夜間の照明等~~	~~ナイター施設、駐車場照明~~																								~~△~~	~~△~~		~~△~~		~~△~~	~~○~~	~~○~~		~~△~~	~~△~~					~~△~~					
	工作物の撤去・廃棄	太陽光パネル等の撤去・廃棄																	△	△																			○	△						
	~~河川取水~~	~~芝生等への散水~~													~~○~~	~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	~~地下水揚水~~	~~クラブハウスの上水~~														~~△~~										~~△~~	~~△~~		~~△~~	~~△~~	~~△~~	~~△~~		~~△~~												
	排水処理								△	~~○~~△	△	~~○~~△			△																															
	農薬・~~肥料~~の使用	除草剤等の使用			△					○	○	○	○	○					○	○						△	△		△	△	△	△		△												

【項目選定の基本的な方針】　各項目の分類の詳細な理由については○○ページの「分類結果-理由表」を参照のこと

- 「騒音」「振動」の工事による影響については、隣接地に病院、学校、住宅地等が存在しないため、基本的には簡略化項目としていたが、予備調査の段階で事業実施区域の周辺（位置については、△△ページの図を参照のこと）で希少野生動物であるクマタカが確認されたため、幾つかについては標準化項目とした。
- 「水質」及び「水象」については、予備調査の結果から下流域に水道水源が確認されなかったが、今後の調査結果から、水質の変化に敏感な動植物の存在が確認又は予想された場合には、より詳細に予測、評価等を行う。
- 「植物」については、調査の結果、注目すべき種等の存在が確認された場合は、その重要性に応じて予測及び評価を詳細に行う。また、確認された場所、個体数等の状況によっては、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置についても再検討を行う。
- 「動物」については、予備調査の段階で事業実施区域の周辺で希少野生動物であるクマタカが確認されていることが明らかになったため、小区分に「付近に生息が確認されたクマタカ」を追加した。なお、調査の結果、クマタカ以外の注目すべき種等が確認された場合は、その重要性に応じて調査箇所及び調査期間等の変更を行う。また、「植物」と同様に、調査結果に応じて、~~ゴルフ場のホール数、コース~~太陽光パネル等の配置について検討を行う。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）

参考

［記載例 その３］　影響要因－環境要素関連表　　廃棄物焼却施設（旧施設を廃止し、同一の場所に設置することを想定した場合）の例

区分	影響要因（小区分）	（具体的な要因）	大気質			騒音		振動	低周波音	悪臭	水質					水象				土壌汚染		地盤沈下	地形・地質				植物					動物		生態系	景観		触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等		温室効果ガス等	その他の環境要素				その他、必要に応じて追加）
			環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	総合騒音	特定騒音				環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質	地下水質	河川及び湖沼等	温泉	地下水	利水及び水面利用等	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目		地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植生	土壌	注目すべき個体、集団、種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群		景観資源及び構成要素	主要な景観			廃棄物	残土等の副産物		日照阻害	電波障害	風害	光害	
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等）		△	△	△	△	○	○																												○	○									
	樹木の伐採																										△	△	△	△		△	△	△	△											
	土地造成（切土・盛土）		△	△		△	△	△																			△	△		△		△						△								
	掘削	基礎工事	△	△		△	△	△																																						
	工作物の撤去・廃棄（建築物の解体等）	既存する旧施設の解体	△	○	△	△	△	△																																						
	舗装工事・コンクリート工事										△		△																																	
	建築物の工事					△	△	△																											△	△										
	廃材・残土等の発生・処理	既存する旧施設の解体に伴う発生		△	△																																		○	△						
存在・供用による影響	地形改変																										△	△		△	△	△			△	△	△									
	樹木伐採後の状態																										△	△	△	△	△	△	△		△	△	△									
	~~建築物・~~工作物~~等~~の存在																																		○	○	△									
	緑化																										△	△		△	△	△			△	△	○									
	自動車交通の発生	廃棄物の搬入、焼却灰の搬出、職員の通勤	△	△	△		△	△		△																											△									
	焼却施設の稼働	搬入廃棄物の保管、ばい煙、冷却排水、洗煙排水、設備稼動	◎		◎		○	○	△	◎	○	○	△	○	△					○	○															○				○						
	廃棄物の排出・処理	焼却灰の保管		△	△															△	△																		○							

【項目選定の基本方針等】　各項目の選定根拠については環境要素毎に３章にまとめた。

- 「騒音」については、事業実施区域の東側に立地している△△公園及び文化施設（□□市スポーツセンター）における、工事中の総合された騒音について予測、評価を行うこととし、小区分として「総合騒音」を抽出した。（詳しくは○○頁を参照）
- 「水象」、「地盤沈下」、「地形・地質」については、既存施設の解体後に、ほぼ同じ箇所に同規模の建築物を新設する計画であるため、影響はほとんど無いと判断し、全ての影響要因に対して非選定項目とした。
- 「土壌汚染」については、予備調査において既存施設で過去に土壌汚染物質が使用された可能性が無いことが確認されているため、「工事による影響」においては全て非選定項目とし、新設する焼却施設の供用後についてのみ予測、評価を行う。
- 「植物」については、事業実施により伐採する樹木は、既存施設の周囲及び東側に隣接する△△広場の植栽エリアの一部のみであり、注目すべき種等が存在する可能性が低いため、影響の想定される項目については、全て簡略化項目とした。
- なお、上記の△△パークのさらに東側には文化施設（□□市スポーツセンター）が立地しているため、「触れ合い活動の場」や「景観」について、工事による影響のうち資材運搬及び存在・供用による影響のうち緑化、工作物の稼働等を標準項目とした。

【凡例】

◎　：重点化項目（調査、予測及び評価を詳細に行う項目）
○　：標準項目（調査、予測及び評価を標準的に行う項目）
△　：簡略化項目（調査、予測及び評価を簡略化して行う項目）
無記入：非選定項目（調査、予測及び評価を行わない項目）